

ら い 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 105 6月号

2014年6月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから
(<https://www.lib015.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

読書と私 No.97

「図書館での儀式」

太子町（市内在勤） 大西 あい子

図書館が好きだ。地元の図書館が一番だと思っているが、新しい町に住むと真っ先にその地の図書館をチェックしに行くし、旅先でも開いている図書館を見つければ入らずにはおれない。そしてどの図書館でも、必ずやってしまうことがある。それは自分のお気に入りの本を「表敬訪問」すること。

なじみの図書館に入り、「やあお変わりありませんか」そんな気持ちでいつものその本棚の前にしばし^{たたず}佇む。著者が故人となって何十年、新作は期待できないと分かっているけど、「万が一ってことがある」その希望を捨てきれない。背表紙がいつもの場所にあるのを見るだけで満足。貸し出し中であつたりしたらなお嬉しい。誰かがあの本で幸せな冒険をしているかもしれないと思うとわくわくする。

初めての図書館で彼らを見つけた時には、「ああ、いたいた」と異郷の地で昔馴染みに出会ったかのように心躍る。反対に無かったりしたら大変。心の中で私がどんな悪態をついているか、その図書館の人は知らぬが花であります。ゴメンナサイ。

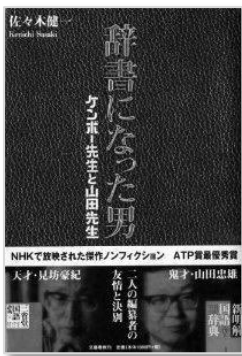
…こうして文章にしてみたらやっぱり変である。お恥ずかしい。でも、こんな奇行を30年も続けてきたのも、子どもの頃にあの本達との良き出会いがあったからこそ。一生に一冊でいい、本当に愛する本に出会えれば幸せだ。願わくは、これを読んで下さっているあなたにも「相呼ぶ魂^{あいよ}」の本との出会いが訪れんことを。



※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『辞書になった男 ケンポー先生と山田先生』

佐々木 健一 著 文藝春秋



本書は、辞書編纂に人生を捧げた2人の男の足跡と彼らがそれぞれほぼ一人で編纂した2冊の国語辞書の誕生までの物語である。その2人とは、『三省堂国語辞典』(三国)を作った見坊豪紀、もう1人は『新明解国語辞典』(新明解)を作った山田忠雄である。2冊で売上累計3000万部以上のベストセラーである。かつて『明解国語辞典』を共に作りだした2人が、なぜ別々の国語辞書を作り出すことになったのかを、著者は辞書界の裏事情も含め探っていく。

国語辞書という、言葉の意味を調べたり、正しい使い方を知るための道具であり、どの辞書もほぼ同じと思われていたが、辞書界を震撼させたある事件をきっかけに、辞書が個性を持つように変化していった。中でも山田の『新明

解』はそれが際立っている。過激とも言われた『新明解』は、主観的で長文・詳細、しかし掲載語は古典の研究者であったことから規範的だとされる。対照的に、現代語を研究していた見坊の『三国』は、客観的で短文・簡潔、掲載語は現代的である。見坊は辞書作りのために用例採集に没頭し、桁はずれの145万例の用語を集めた。(通常小型辞書では10~20万語で十分と言われる。) どちらの辞書も同じ言葉であっても改版のたびに、語釈に変化があり、当時の社会の風潮や編纂者の心情をうかがえるユニークな用語例も紹介されている。

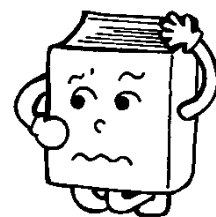
ある時点から決別して以来会うことの無かった2人であるが、晩年は辞書の記述から、言葉を交わすかのようにお互いの事を気遣う心情が探れるところが興味深い。編纂者の情熱や辞書編纂の内幕を知ること、改めて辞書をじっくり手に取ってみたいくなる。

(龍野図書館 河部)

トピックス

みんなの財産「本」を大切に！！

図書館の本は市民の大切な財産です。多くの方に、永く利用していただくため、大切にお取り扱いください。本を汚したり、破損させてしまった場合、その本を弁償していただく事があります。



●水濡れにはご注意ください

紙は湿気を含むと波打ったり、強度が弱くなったりして、元には戻りません。そのままの状態では放置すると、カビが発生する原因となります。

●飲食・喫煙をしながらの利用はご遠慮ください

食べたり、飲んだりしながら利用すると、汚れてしまう場合があります。喫煙しながら利用すると、タバコの灰で本が焦げたり、タバコの匂いが染み込んでしまう事があります。

●書き込み・ページ折り・切り取りはおやめください

書き込みや線引き、ページ折りは、次に利用する方のご迷惑になり、資料も傷めてしまいます。ページを一部でも切り取ってしまうと、本全体の価値がなくなってしまう場合があります。

らくかきはイヤだよ~!!



※実際に落書きのあった絵本をスキャンしています。

★こんな場合も…

落書きやページ破れ、噛み跡がある場合があります。小さなお子様がいたり、ペットを飼っているご家庭では、資料の取り扱いにご注意ください。万一破損してしまった場合は、必ず図書館員にお伝えください。状態によっては、図書館で修復可能な場合があります。※セロハンテープなどを使用すると余計に資料が傷みますので、個人で補修するのは絶対におやめください。

おすすめする子どもの本・97

『チムのいぬ タウザー』 アーディゾーニ 作・絵 神宮 輝夫 訳 偕成社

船乗りの少年チムとジンジャーは嵐の夜、甲板でボートの中にいる子犬タウザーを見つけると、犬嫌いのハイパー船長に内緒で飼いはじめます。

ある日、船長はチムに、あそこに犬がいるのが見えるかと尋ねます。チムは「いいえ船長」と嘘をついてしまいました。船長はジンジャーにも尋ねますが、返事は同じでした。いないはずの犬が見えることで船長はふさぎ込んでしまいます。

嵐の夜、船が沈みそうになっても船長は船員に指揮もとらず船室にこもったままです。チムが船長にタウザーのことを白状しようと船長室に入ったところへタウザーが現れました。自分が病気でないことが分かった船長はすぐにさまざまな命令を出して、危機を逃れます。

その後タウザーを飼ってもらう人を探すように言い渡されますが、船員達がみんな頼んでくれたおかげで飼うことを許されました。

著者アーディゾーニの力強い線と美しい色合いで描かれた挿絵が、タウザーのために奮闘しているチムとジンジャーの様子や次々に起こる海での出来事を伝えます。最後は大好きなタウザーと一緒にいられることになったチムとジンジャーの幸せな気持ちが心に残ります。

この本はチムシリーズ7作目です。1作目の『チムとゆうかなせんちょうさん』では、どんなに船乗りになりたかったがよくわかります。

読んであげるなら5歳くらいから。

(新宮図書館 上田)

『村は大きなパイづくり』 ヘレン・クレスウェル 作 岩波書店

グラベラの父さんは村一番のパイづくり名人で、この仕事がなにより好きです。でも、このところは注文が無く、かまどに火を入れるのは1週間に1度くらいで、一家は元気がありません。

そんなある日、王様がパイの競技会を開くというおふれを村々に出しました。最大にして最上のパイを作った者には賞金が出、戸口には王家の紋章を飾ることができるのです。

その夜、村の代表達がやってきて、グラベラの父さんに、世界一大きくておいしいパイを作ろうともちかけました。2千人分の肉入り巨大パイ作りの始まりです。

大きなパイを焼くための特大パイ皿は、遠くの村で作られ、それと分からぬように船に仕立てて川を下ってやってきました。朝早くから大量のタマネギを刻み、材料をこね、肉を煮込みます。ぐつぐつ煮えた肉汁の大鍋20個は、男達の手から手へ渡り、はしごのてっぺんからパイ皿の中へ。

納屋いっぱい、平たくのばしたパイ皮を慎重にかぶせ、かまどへと運んだのは真夜中でした。

村中総がかりで特大パイを焼き、競技会で優勝するまでの奮闘ぶりが、グラベラの目を通してユーモラスに描かれています。読み進めるうち、ダイナミックに展開する巨大パイづくりを体験する楽しさでいっぱいになります。

9歳くらいから。

(揖保川図書館 岡村)



各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段) ・ 時間(下段)	6月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	●えほんのじかん	1～3歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時20分)	14日・21日 『バルンくんとともだち』他
	子どもの本を読む会	一般 ----- 第2木曜日(10時～11時30分)	12日 『思い出のマーニー』ロビンソン 著
	読書会	一般 ----- 第2金曜日(10時～11時30分)	13日 『兼好さんの遺言』清川 妙 著
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2～4歳児、保護者 ----- 第2・4月曜日、第3日曜日(11時～11時20分)	9日・15日・23日 『ちいさなねこ』他
	■おはなしのじかん	5歳児～ ----- 土曜日(11時～11時30分)	7日・14日・21日・28日 『げんきなマドレーヌ』他
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3～5歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)	14日・21日 『サリーのこけももつみ』他
	■おはなしのじかん	小学生以上 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時30分)	14日・21日 「アナンシと五」他
	読書会	一般 ----- 第3金曜日(10時～12時)	20日 『おくのほそ道』(100分de名著)
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	0歳児～、保護者 ----- 第2・第3日曜日(11時～11時20分)	8日・15日 『ゆかいなかえる』他
	読書会	一般 ----- 第2火曜日(13時30分～15時30分)	10日 『蝸ノ記』葉室 麟 著
	古文書を読む会	一般 ----- 第2土曜日(13時30分～15時30分)	14日 古文書の解説